

令和2年度

吉野川市立川島中学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①基礎・基本を身につけさせる家庭学習の確立を目指す。
- ②自分の思いや考えを表現し伝える力を身につけさせる授業を行う。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員 立石房徳(校長) 中川浩幸(教頭) 羽田泰子(人権教育主事) 松本賢一(1年主任) 住吉洋子(2年主任)
明石浩二	山野井貴子(3年主任) 岡崎 勝(生徒指導主事) 天野和美(特別支援コーディネーター)

校長

立石房徳

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職の授業参観及び、教職員相互の授業参観、報告等において取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○朝読、朝学の時間を大切に学習活動に取り組んでいる。 ○漢字ノート・英語Bノート・自主勉ノートに取り組み、学力の定着を図っている。 ●習熟度の差が大きく二極化していて、家庭学習の習慣が不十分であるため基礎・基本が定着していない。	①家庭で各教科の自主学習に毎日取り組み基礎的・基本的な学力が身についている。 ②継続的に朝の自主学習をすることにより基礎的・基本的な知識・技能が身についている。	①各教科において継続して繰り返し確認テストを行う。 ②授業の始めに「本時のめあて」を提示して学習内容を意識させ、またICTなどを取り入れて興味・関心をもたせ、わかりやすくやる気もてる授業を目指す。 ③本時のまとめを行い、授業内容を定着させる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○全校生徒集会・人権学習会などでは、課題に対して真剣に考え、発表者の意見をしっかりと聞き自らも発表しようとする態度を身につけている。 ●授業・テストなどでは自分の考えや意見に自信が持てず、表現する力や伝える力に欠けるところがあり、自主的に発言するのが苦手な生徒が多い。	①様々な事象について深く考え、自分の意見や思いを表現したり、物事を論理的に筋道を立てて考え、的確に判断できる。 ②読解力や表現力を高めるために毎日読書をする習慣を身につける。	①学習活動にアクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、自分の意見や思いを表現する場面を作る。 ②各教科部会で研修を行い、授業を行える工夫を目指す。 ③朝の読書の確保と生徒集会や専門委員会などの他人の意見を聞いたり意見交換したりする機会を増やす。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業準備ができていて、落ち着いた態度で授業に取り組む、各教科の授業を大切にしようとする態度が見られる。 ●自主学習に対する取り組み方が分からず、家庭学習の習慣が身につかず、授業で学んだ知識・技術が十分にいかせていない。	①学習計画を自主的に立て、家庭学習を計画的・意欲的に行う。 ②ワークやテスト問題で、分からない問題に対しても粘り強く理解しようとする。 ③授業時間の50分を無駄にしないで集中する。	①家庭学習時間を「生活チェック」に記録し、振り返らせることで、家庭での生活の仕方や学習への取り組み方を考えさせる。記録したチェック表は面談等で活用する。 ②教師は2分前着席を徹底させる。 ③「何を学ぶか」だけでなく「どう学ぶか」も生徒に考えさせる授業をする。			

令和2年度 学力向上ロードマップ

